

掘師会 2026 年初秋会報

(日本における地下掘削の技術向上並びに継承するために設立された会)

一般財団法人掘師会

東京都練馬区大泉学園町

理事長 内山 剛

1. 理事長挨拶



2020 年コロナ禍、志を持った皆様と一般財団法人掘師会を立ち上げることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

2025 年は温泉掘削講習を開催いたしました。引き続き幅広い学びの場を共有できれば幸いです。引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。

内山 剛

2. 掘師会情報交換会

開催日	2026 年 6 月～8 月	場所	オンライン	参加者	会員
内容	●技術動向：ボーリングに関する意見交換。 ●事業環境：業界動向。 ボーリングデータの取扱い。				

3. ボーリングスキルアップ講習会・視察等の実施状況

期日 (2026 年)	勉強会の内容
6 月 7 日 (日)	技術士 2 次試験／過去問分析 場所：練馬区大泉地区区民館、参加：2 名
6 月 14 日 (日)	技術士 2 次試験／選択科目 I・II 過去問演習 場所：練馬区大泉地区区民館、参加：2 名
6 月 21 日 (日)	技術士 2 次試験／選択科目 I・II 過去問演習 場所：練馬区大泉地区区民館、参加：2 名
6 月 27 日 (土)	技術士 2 次試験／模擬試験形式 場所：ウチヤマ地質工業新座サイト、参加 2 名
7 月 5 日 (日)	技術士 2 次試験／模擬試験形式 場所：ウチヤマ地質工業新座サイト、参加 2 名
7 月 12 日 (日)	技術士 2 次試験／模擬試験形式 場所：ウチヤマ地質工業新座サイト、参加 2 名

4. 今後の予定

地質調査に関する講習会を検討中。

特に初級者向けに柱状図に関する理解を深める講習会を検討中。

5. トピックス

ボーリング調査体制の再点検が求められます！

2026 年 8 月 31 日、全国地質調査業協会連合会ホームページで「令和 8 年改定版ボーリング柱状図作成及び ボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説」が公開され、2027 年 4 月 1 日からボーリング事業者が対応すべきことがまとめられています。ここでは「主な改定内容」を例示していきます。

1. オールコアボーリングとノンコアボーリングとは

オールコアボーリングとノンコアボーリングの定義は次表の通りです。

＜表：オールコアボーリングとノンコアボーリングの定義＞

種類	定義
オールコアボーリング	土質・地質の性状を連続的に把握することを目的としたボーリングで、採取したコアや標準貫入試験試料をコア箱に納め、コア観察により詳細な地質状況を把握し、ボーリング柱状図の作成が可能なものをいう。
ノンコアボーリング	サンプリング、標準貫入試験、原位置試験など、個別の物性値取得、観測孔設置などを目的とした削孔で、コアを採取しないボーリング。

出所：全国地質調査業協会連合会

2. ボーリング柱状図の改定

緯度・経度だけでは正確なボーリング地点が示しきれないため、測地系の記入が求められます。また、標準貫入試験の項目名変更等も行われます。

3. ボーリングコアの保管・廃棄

地質調査業界では、ボーリングコアの長期間保管スペースや管理コストの増大が課題となっています。ボーリングコアは必要な工種のみ保管、その他は納品後に原則廃棄となり、電子納品データとしての保管となります。また、ボーリングコア等の廃棄は法令・条例で定められ、保管・廃棄を委託する場合は保管期間、保管料、処分費用等も明確化されます。

4. 資格者について

柱状図の電子納品では、地質情報管理士が実施するか、またはその指導の下で実施することを明確化する方向で改定が進められています。

5. まとめ

ボーリング事業者にとって、ボーリング調査体制の再点検が求められる動向と言えます。

参考文献：全国地質調査業協会連合会ホームページで「令和 8 年改定版ボーリング柱状図作成及び ボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説」

2026 年 9 月 8 日 小島康（中小企業診断士）

編集：掘師会事務局（合同会社ココジマ）